

東海連合支部 第129回山登り会 登山報告

日 時： 2020年2月8日（土）

行 先： 高見山

標 高： 1248m

登 山 口： 三重県・奈良県境

累計標高差： 607m

歩行距離： 8.3km（全行動時間約6時間）

参 加 者： （あいうえお順）奥山（幸）さん、佐野間さん、清水さん、茂木

高見山は1200m程の標高でも霧氷が見られるとして、名の知れた山だ。山歩き会では2014年に訪れている。愛知県方面から車では距離もあるので電車で近鉄榛原駅まで来る、そこから1月2月の土、日、祝に運行される高見山登山専用の季節臨時バスで登山口まで行く。2014年も同じアプローチをしている。

バス停の登山口を10:00出発、標高460m。民家の横を通って登山道に入る、雪は無く天気は曇り少しガレ気味のつづら折りを20分弱登って衣服調整。この道は南伊勢街道と呼ばれ紀伊藩が参勤交代に使ったと言う。狭い山道で重いお籠は難儀したに違いない、物語の名君なら籠から降りてやったかもしれない。

休憩を終る直前に5・60代の女性3人組が追い抜いて行った。そこそこ経験のある風で、我々が後に続く「刻んで行こうとしているのに困っ



小峠

ちゃう～」などと云いながらもさっさと引き離してゆく。我々としては（失礼、私としては）これ以上ペースはあげたくない、歳は取りたくないもんだと思いつつマイペースで。30分程進むと雲母曲（きららかじ）と珍しい名前の曲がり角に着く。（10:50 750m）予定ではこの時刻で小峠に着いても良いころだ、今日は何故かピッチが下がり気味だ。

雲母曲を過ぎ、暫く行くと道が土砂崩れで崩壊しており、崩壊の手前で高巻きをする道が造ってある。高巻きして15分程行くとようやく小峠に到着。（11:10 830m）峠は林道と交差しており、風の通り道になっている様子だ。皆で行動食をやり取りして休憩するがすぐに寒くなったので出発する。（11:20）この時点で予定より20分遅れている。いつもの登山なら時間遅れは無いに越したことはないが、遅れてもヘッドランプがあるので何とかなる。しかし今回は帰りバスの最終時間があるので、遅れの余裕は少ない。小峠からは急登になる、

まず鳥居をくぐる急な階段からはじまる。遅れを取り戻すべく少しピッチを上げて見たがどうも調子がおかしい、一步一步がだんだん重くなってゆく。そのうち大臀筋が悲鳴をあげてきた。たまたま小休止を摂るが殆ど回復しない。朝4時前に起き朝食抜きの愚行をしているので、これってもしかしてシャリバテか？自分は経験していないが山仲間が深酒の末朝食抜きでシャリバテになったのを見ていてそれと似ている気がする。

息は上がってないが筋肉が苦しい。苦戦して25分程で大きな分岐点に到着する。（11:45 930m）この分岐を左に行くと帰着予定の「たかすみ温泉」に向かう方向だ。この先のもう一つの分岐からかたすみ

温泉に向かうのが当初の予定だが、この分岐かなりメジャー(?)な分岐なのでこの先にあるはずの分岐が目立たないようにであれば帰りはここで分岐もありだなと心にチェックする。

地図ではこの先700m程で急登は緩むことになっているので「もう少し」と自身を励まして牛歩の様に



霧氷

登る。足元に雪はないが土は凍りかけている、周りの木の枝には数ミリ程度の霧氷が見られるようになって来た。苦行する事35分、12:20 標高1080mの国見岩に到着。

頂上までは6~700m、高度差180m 通常なら30分程度なので予定のタイムスケジュールとマッチするのだが、今の自分の状態では休み休みで、それもかなり苦痛を伴いながら1時間はかかりそうだ。そうなると帰りのバスに間に合わなくなる。小雪も降り始め風も出てきた。ここで心が折れた。

皆さんには頂上を踏んでもらい、私は先程の分岐に向けて少しずつ降りながら風の弱い昼食地を探してメンバーの降りてくるのを待とうと決めた。その旨を提案すると、皆さんは「ここから先は見当がついた、風雪が強くなるので敢えて山頂に行くこともない」と言ってくれたので、ここから引き返す事にした。そうと決まれば急ぐことはない、写真を撮ったり霧氷を見たりで20分程遊ぶ。足元は降り始めた小雪と風で散らされたエビのしっぽが混じってうっすらと積もりかけている。エビのしっぽの長さは15mm程になっているが少し物足りない感じが正直なところだ。前回(2014年)の時は5~10cm位有ったと思う、その時は雪道で回りも真っ白だったような気がする。



霧氷2

そして下りにかかる。(12:40) 標高1030m 辺りには「たかすみ温泉」への分岐があるはずだが、一寸見分らない。昼食に適した場所を気にかけてながら下るが、尾根筋なので風の弱い場所は中々出てこない。そうこうするうちに例のメジャーな分岐まで来た。平らな広い場所はないので、仕方なく風の弱い南側の



の斜面に陣取り昼食を摂る。いつものようにラーメンを作るのだが、斜面は緩いが何をやるにも、転がらないかこぼれないかと気を使うので中々覇かが行かない。盛り分けに手間取っていると「冷やしラーメンになりそう」と冷やかされる。上手い事を云うもんだと笑いあった。40分位休んで出発(13:40 930m)、ここから「たかすみ温泉」方面に向かう。40分程下ると「高見杉」に着く、樹齢700年という大木、鳥居と避難小屋がある。(14:15 730m) 避難小屋で15分程休み、

数分進むと僅かな登りとなる。こんな緩い傾斜でも腰が疲労を思い出す、下りのはずなのに登るなんて理不尽だと弱った腰が云う。その内下りに変わり、間伐された植林帯を1時間弱降りてようやくたかすみ温泉に到着。(15:30) 無事に16:00のバスに乗り、「登頂果たせず申し訳ない」との思いの中で疲れて眠りに落ちた。

茂木記